

「地域に開き、市民とともに歩む教育研究所」をめざして

令和5年度 守山市教育研究所 事業概要

<基本方針>

「明日の守山を築く教育の創造と充実を図り、学校園教育および子育てや家庭教育に関する支援を推進する。」

○教育における「不易」と「流行」を見極め、教育の今日的課題や郷土理解にかかる講座を開設し、教職員の資質向上および市民が教養を深める社会の実現に努める。

○不登校や子育てに悩む保護者や不登校児童生徒への支援を行うことにより、社会的に自立することを目指す。

令和5年度の運営について

◇学校現場および教職員から信頼され頼りにされる教育研究所であり、児童生徒や保護者の拠り所となる教育研究所をめざしていく。

◎「学校の教育力」「教員の資質」の向上に寄与するとともに、「悩みや不安を抱える」子どもや保護者の支えとなる。

○当研究所のすべての事業活動に対し、「何のために行うのか」「よりよいものを求めているか」「学校現場や保護者の願いにきちんと応えられているのか」を、常に問いかけ、真摯に事業に取り組む。

○教職員の資質向上に繋がる研究・研修事業を企画する。

「不易と流行」「現場主義」「教員の教師力・人間力の向上」「若手教員の指導力向上」

○増加する別室登校や不登校の児童生徒の支援に悩む教職員に頼りにされ、子どもや保護者の拠り所となる教育相談事業を行う。

「学校や関係機関との連携」「アセスメントと支援方針」

○不登校児童生徒の居場所であり、拠り所となる「くすのき教室(適応指導教室)」にする。

「児童生徒や保護者の思いに寄り添った支援」「多様で適切な学習活動と体験活動の充実」

<活動の重点>

Ⅰ 研究・研修事業の充実

<重点>

○子どもの「生きる力」(自立と共生の基盤づくり)を育む教育実践に関わる研究の推進。

○教職員の資質向上をめざす研究研修の推進

・若手教員の指導力・実践力向上を図る悉皆研修の推進

・教員の指導力・授業力向上を図るキャリアステージに応じた研修の推進

・守山市小中学校教育研究会との連携の強化

<学校教育の充実を図る研究・実践の推進>

○教育に関する調査研究

・若手教員のよりよい子ども支援のための教育相談のあり方

○指導力向上に関する研究

・子どもが自ら課題を見つけ、主体的に話し合い、実践する力の育成

○小学校英語教育の推進

○中学校特別活動の推進 一生徒会サミットの取組

<教職員の指導力向上のための研修実施>

○初任者・中堅教諭等資質向上研修(学校教育課との連携)

○2校目初年度研修・講師1年目・2年目研修・2年次研修

○キャリアステージに応じた研修

・授業力向上研修講座 生徒指導・教育相談研修講座

・特別支援教育研修講座 教師力・人間力向上研修講座

・小中学校外国語教育実践講座

・ICT活用実践研修講座

・幼児教育研修講座

○教育研究会との連携

・指導案や実践例の収集

<市民に開かれた講座の開設>

○郷土守山に学ぶ研修講座(市民・教育関係者対象)

・守山の自然や歴史等、文化等、地域財産に触れ郷土愛を育む

2 教育相談事業の充実

<重点>

- 児童生徒の様子に悩みや不安を抱える保護者に寄り添い、解決策を共に考えることで、児童生徒が社会的自立に向かおうとするエネルギーを高める。

<相談しやすい環境づくり>

- 本人の在籍校との連携強化に努め、速やかで、かつ、児童生徒の心に寄り添った対応を図る。
- 専門的な見地が得られるよう、SCやSSW、関係機関との連携強化に努める。
- 月に1度、北公民館を会場として教育相談活動を展開する。

*電話相談・面接相談(随時 9:00~17:00)

*ケース会議(随時)

*学校訪問

<教育相談員の資質向上>

*事例検討会(年4回)

*各種研修への参加

3 くすのき教室(適応指導教室)事業の充実

<重点>

- 小集団の中で不登校児童生徒への支援を行うことにより、児童生徒の社会的自立をめざす。

<居心地のよい「くすのき教室」運営>

- 学習習慣の確立や学習支援、体験活動等、個に応じたきめ細かな指導と支援の充実を図る。

- 通室生が自らの進路を主体的に捉えていけるように支援する。

- 通室生および保護者に対する教育相談の深化・充実を図る。

*月、水、木、金曜日の9:30~15:00

*学校・関係機関との連携(随時)

*保護者との懇談会(各学期末)

*夏季休業日における通室日の設定

4 広報活動等の充実

<重点>

研究所の事業を広く周知する。

- 教育研究発表大会・教育講演会の開催(市民・教育関係者対象)

- 研究紀要・研究成果物の発行

- 研究所だよりの発行

- ホームページの充実

- 研究資料等の収集、貸出